

別紙1 美しい森林づくりのモデル的な取組

名 称： 水土保持複層モデル林
場 所： 四万十森林管理署 39い林小班外 高知県四万十市
面 積： 96.75ha 樹 種： ヒノキ
林 齢： 上木97年、下木12年 機能類型区分： 水土保持林水源かん養タイプ
森林現況： 育成複層林

目標とする森林： 水質の保全、景観の維持等を図るため、樹齢、樹高の異なる樹木で構成される複層状態(非皆伐状態)の森林を維持

誘 導 手 法： 公益的機能重視の複層林施業のモデルとしていく

作 業 経 過： 植付(下木) 作業時期 1996年
複層伐 作業時期 1993～1995年 伐採率 50%
植付(上木) 作業時期 1911年

施 業 効 果： 皆伐に伴う表土の破壊・流出や保水機能の低下を避けることができ、また、常に林地に樹木が存在するので、景観の維持にもつながっている



撮影：2008年 5月

【連絡先】 四万十森林管理署 0880 - 34 - 3155 記載年月：2008年 5月

四国森林管理局 <http://www.shikoku.kokuyurin.go.jp> 林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp>